

12月の本の展示 クリスマスの本展

絵本や物語のほか、手作りプレゼントやパーティの本など、クリスマスを楽しむための本を展示します。クリスマスツリーも飾っています。ぜひご覧ください。

■期間 12月25日(日)まで

■場所 図書館カウンター前



上西春別中学校地域開放型図書室のお知らせ

冬季（12月から3月）の期間、開館時間は次のとおりです。

■冬季開館時間 午後2時から午後4時30分

※4月からは通常の開館時間に戻ります。

HAPPY BAGをさがせ

館内に隠されたHAPPY BAGを探してみましょう。職員が選んだオススメの本が2冊入っています。探し当てた袋はカウンターで貸し出します。

■期間 12月17日(土)午前10時から
(袋がなくなりしだい終了)

■場所 図書館児童コーナー
(カウンター前、児童書コーナー)

■貸出数 大人向け10セット、子ども向け15
セット、乳幼児向け3セット



1日図書館司書体験

1日図書館司書体験では、カウンター、レファレンスなどを体験してもらいます。ぜひご参加ください。

■日時 令和5年1月12日(木) 午前9時30分から正午

■場所 図書館

■対象 町内在住の小学5年生から6年生

■定員 4名 ※募集人数を超えた場合は、初めて参加される方を優先し、抽選とします。

■募集期間 12月10日(土)午前10時から15日(木)午後6時まで

■申込み 図書館または、はくちょう号、上西春別中学校地域開放型図書室、電話、FAXのいずれかにてお申し込みください。

別海町出身作家

河崎秋子さんの新刊が出版されました

「介護者D」河崎秋子 著 朝日新聞社

30歳、契約社員、未婚、何となく住んでいる東京から、父の介護のため、札幌へ戻ることを決めた。まだ何者にもなれていない私の唯一の救いは「推し」だった。ぜひご一読ください。



小さい子のお話の時間

図書館職員が赤ちゃん絵本の読み聞かせや手遊びをします。

■日時 12月2日(金)、9日(金)、16日(金)
午前11時から午前11時15分

■場所 図書館「お話しのコーナー」

■対象 0歳から3歳程度

※密集を避けるため、参加は先着3組までとなります。

12月の休館日 5日、12日、19日、26日、29日から31日

1月の休館日 1日から6日、9日、10日、16日、23日、26日(月末休館日)、30日

問合せ／図書館 TEL75-2266 FAX75-0506 Eメールtosyo@betsukai.jp

※月末休館日は、図書整理などのため休館させていただきます。
※休館中の返却は玄関横の返却ポストをご利用ください。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、各種予定が変更となる場合があります。

郷土資料館だより

ウィンタースクール

昔の遊び「たこ作り」に挑戦しよう

たこを作り、昔の遊びを体験します。

■日時 令和5年1月13日(金) 午前10時から正午

■場所 郷土資料館

■内容 昔の遊び「たこ作り」

■対象者 小学生

■定員 5名

■申込み 電話またはFAX、Eメールにてお名前と電話番号を12月25日(日)までにお知らせください。



12月の休館日 3日、4日、12日、17日、18日、26日、29日から31日

1月の休館日 1日から7日、9日、15日、21日、23日、29日

申込み・問合せ／郷土資料館
TEL・FAX 75-0802
Eメール kyoudo@betsukai.jp

全国学力学習状況調査「北海道版結果報告書」が公表されました

北海道教育委員会が11月1日に公表した「令和4年度全国学力・学習状況調査 北海道版結果報告書」について、本町の状況を抜粋して掲載します。

別海町内の状況

※全道の状況は、北海道教育委員会ホームページから見るができます。
(<https://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/gks/gakuryoku04top.html>)

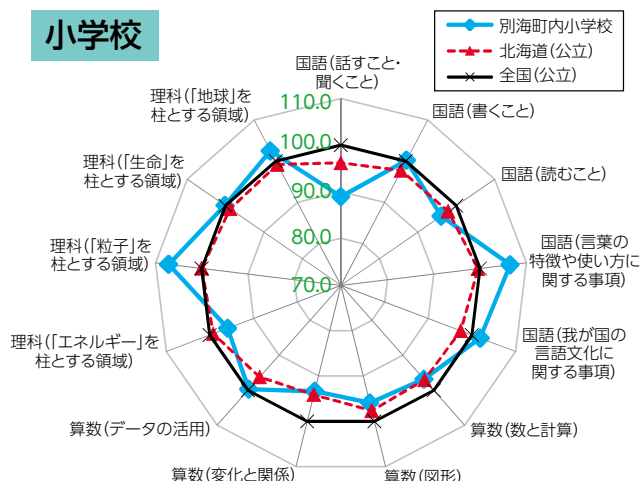


【教科全体の状況】

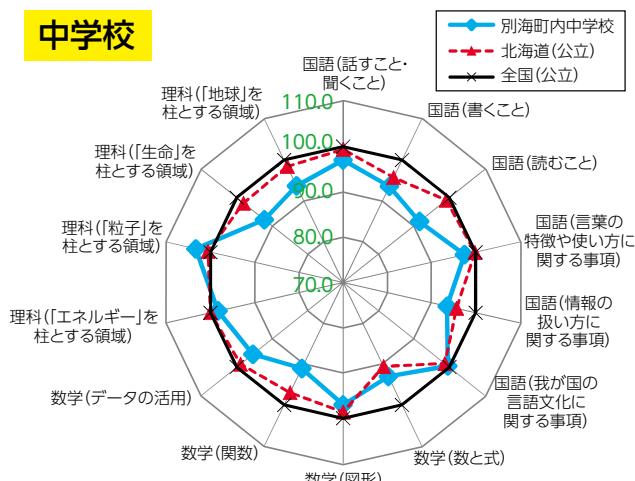
教科の領域別に全国を100とした場合の全道と市町村の状況をレーダーチャートで示したものの（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	66	66
算数・数学	61	48
理科	64	48

小学校

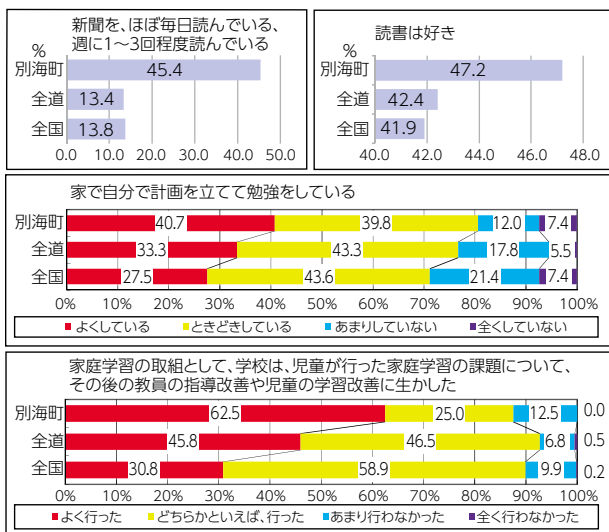


中学校

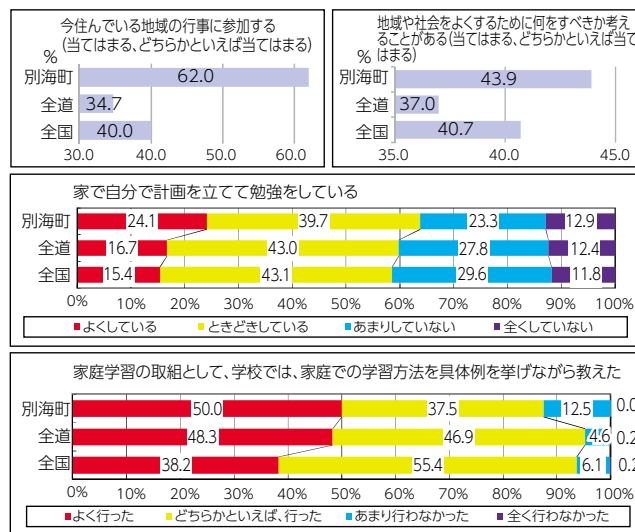


【質問紙の状況】

小学校



中学校



■地域での豊かな学びが学力を向上させる

小学校においては「新聞を活用した教育活動や読書活動の推進など、総合的な読解力向上に向けた取り組みを行ったことにより、新聞を読んでいる、読書は好きと回答した児童の割合が全道や全国を上回り、国語の1領域2事項の平均正答率が全道や全国を上回った」と分析されています。また、中学校においては「地域一丸となって子どもを育てる環境づくりを行う“別海型コミュニティ・スクール”の活動で、学校・家庭・地域・行政が連携して子どもの豊かな学びを推進したことにより、今住んでいる地域の行事に参加する、地域や社会をよくするために何をすべきか考えると肯定的に回答した生徒の割合が全道や全国を上回った」と分析されています。

本町としては「ふるさとキャリア教育」の推進を軸としながら、先進的な取り組みから学ぶことを通して、現在各小・中学校で展開されている授業改善などを一層充実させていきます。